

農福連携で地域の課題を私たちが解決！**活動の経緯**

地元農協のライスセンターの廃止を受け、当事業所で米の乾燥調整事業をスタート、翌年に水稻の播種育苗事業も開始、地域の農家さんへ販売するなどし、農福連携を通じてお役に立てるよう活動しています。

活動の概要

水稻育苗販売事業とライスセンター事業を運営。地域の50%以上の農家さんの乾燥調整事業を受託。



水稻育苗の様子



地元小学校の田植え体験授業の様子

活動の成果、主な実績等

事業所開所時から米乾燥調整所（菜の花ライスセンター）を始めました。地域の農家さんのお米を預かって乾燥調整しお返ししています。一軒一軒のお米を混ぜずに乾燥するため、自分で育てたお米が食べられると評判を生み、年々受託件数が増えています。同時に行っている水稻育苗販売も年々増加し、34件に1,600枚以上販売しています。

地元小学校の社会科授業での「お米の作り方」を請け負い、毎年5年生が、菜の花の無肥料無農薬栽培の田んぼに田植え、稲刈り体験に来ています。栽培途中には、水辺の生き物観察をしたり、できたお米は炊飯し味わってもらっているなど教育や食育でも連携をしています。

地域に根差した農福連携事業を旗印に農家さんや次世代の子どもたちとつながりを持ち、特に高齢化する農業者が活躍でき、地域の活性化につながるような連携をし続けていきたいと願っております。